

令和元年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立北山中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

平成31年4月18日(木)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、数学、英語)

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

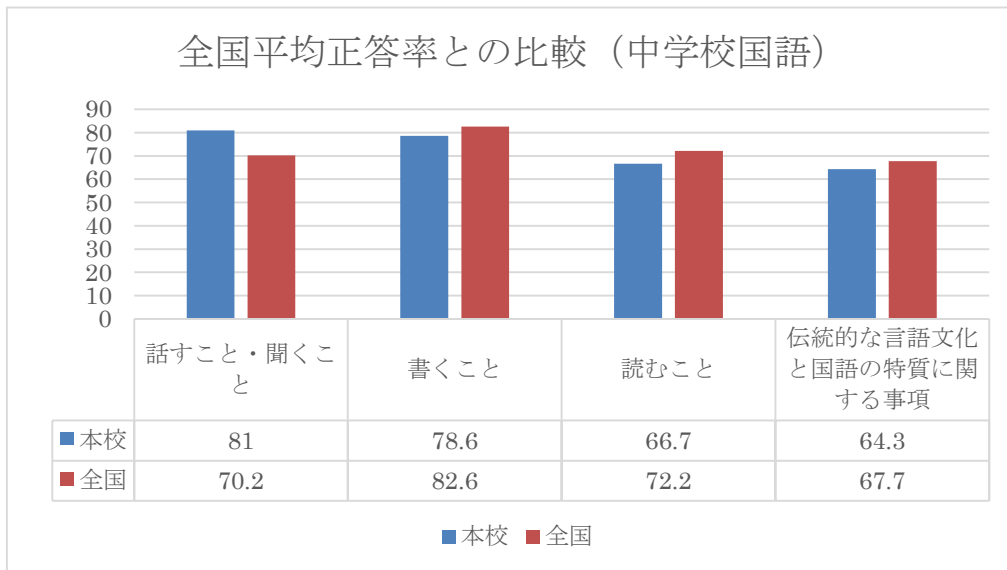
児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例) 国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

- ・4領域のうち3領域で全国平均正答率を下回った。
- ・分布の割合を見ると、上位と下位に分かれており、中位の生徒が少ない。
- ・無回答率は全問題で0%であった。

(2) 成果と課題

今回の調査で、「話すこと・聞くこと」の正答率が全国平均を上回った。普段からブロック集会等で、意見交流の場を設定していることの成果と言える。

一方、「読むこと」においては全国平均正答率を下回った。文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることが課題である。国語科の授業では、特に、問われている事柄の根拠は文章中に示されているのでその部分を読み取る指導が必要である。

また、封筒の書き方を理解して書く問題の正答率が低かった。日常生活と結びつけた実生活で使える知識・技能を育む必要がある。

(3) 学力向上のための取り組み

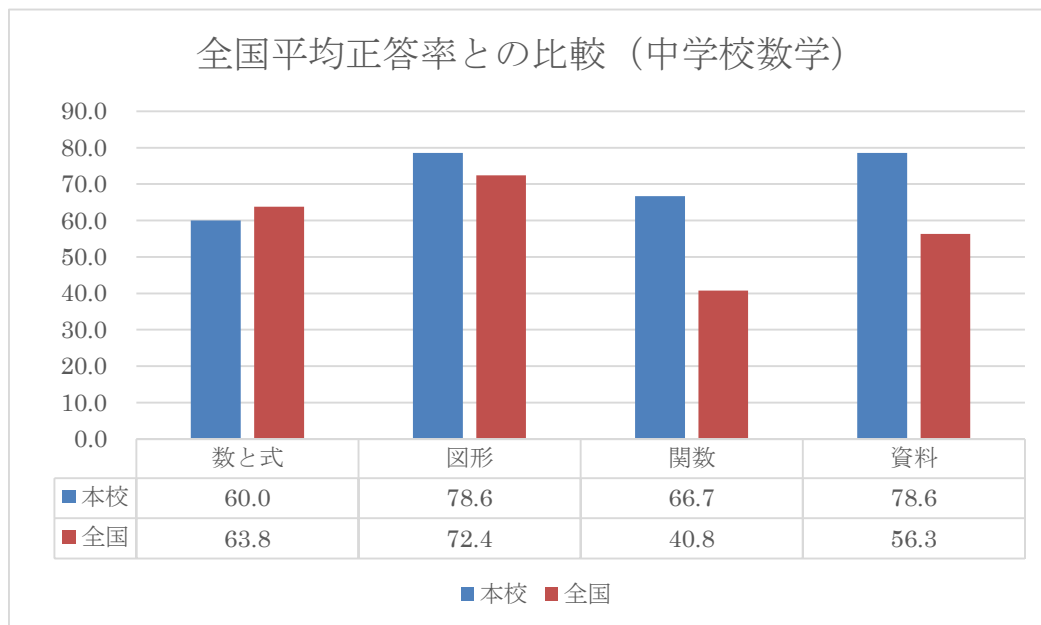
【学校では】

- 登校後は読書に取り組むようにしています。日頃から本に親しむとともに、落ち着いて学習に臨む態度を養います。
- ブロック集会や朝の会などで、自分の考えを発表し意見交流する場を多く設定しています。相手の話の主旨を捉え、情報を整理しながら聴き、自分の意見を表現できる力の習得を目指します。
- 目的に応じて、本や文章全体を概観できるよう、要約の指導を行います。

【ご家庭では】

- 本や新聞に親しむ機会を増やしましょう。語彙力を高め、知識の幅を広げることができます。本校の生徒の読書量は多いですが、ジャンルが偏っています。文学・科学・歴史・地理・哲学・芸術…少し難しい内容の本に挑戦して、思考力を高めましょう。文章を読んで要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- お子様と対話を楽しみましょう。聞くときは最後まできちんと聞き、話すときは語尾まではっきりと話しましょう。共感したり、根拠を尋ねたり、お互いの考えが深まるように交流しましょう。

2 数学



(1) 結果

- ・4つの領域の中で、3領域で全国平均を上回った。
- ・特に「関数」「資料の活用」の領域では、本校生徒の正答率は全国平均を大きく上回っている。
- ・「数と式」の領域においては、全国平均を下回っている。
- ・全体的に無回答率は低く、答えに自信がない問題にも何とか答えようとする姿勢が見られる。

(2) 成果と課題

「関数」「資料の活用」の領域は、本校のよくできているところとして現れた。「関数」は25.9%、「資料の活用」は22.3%全国平均正答率を上回った。

正答率が全国平均を下回った「数と式」においては、数の集合と四則計算についての理解や簡単な連立二元一次方程式を解くことが苦手な生徒が多かった。課題解決のためには、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、その式が成り立つ理由を説明する活動の充実が必要である。

(3) 学力向上のための取り組み

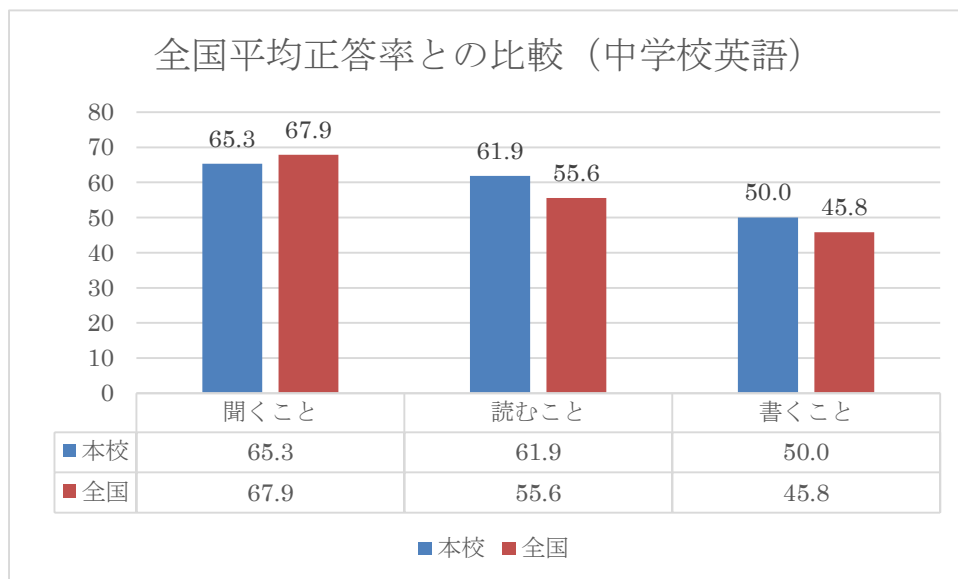
【学校では】

- 正誤だけでなく、生徒がどこでどのようにつまづいているのかを分析し、個々の指導に生かします。
- 授業では、友だちの考えを聞いたり、自分の考えをまとめたり、他者に伝えたりする言語活動を多く取り入れ、数学的な見方・考え方を育成し、思考力・活用力を高めます。
- 放課後学習会等の時間を利用して補充的な学習を行い、学力の定着を図ります。

【ご家庭では】

- 数学科は積み上げの教科です。毎日学習を続けていくと力が付きます。授業のあった日に復習すると、一度忘れても思い出すのが容易になります。最後まであきらめずに解くことが大切です。解けた喜びを味わうと数学が楽しくなってきます。励ましの言葉をお願いします。

3 英語



(1) 結果

- ・「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4つの領域のうち3領域で全国平均を上回っている。
- ・英語を「話すこと」「読むこと」「書くこと」の対全国比に比べ、「聞くこと」の対全国比がより低い割合になっている。
- ・全体的に無回答率は低い。

(2) 成果と課題

「聞くこと」の領域の中の、「話と話の連結による音変化を捉えること」や「教室英語」を理解することの問題は正答率100%であった。情報を正確に聞き取る力は定着していると言える。一方、聞いた情報について自分の考えを書く問題で正答率が低かった。聞きとったことを目的に応じて正確な英文で表現することに課題が見られた。

「話すこと」を試す問題では、(参考値ではあるが)全国正答率は30.8%と低かったが、本校は54%と全国正答率を23.2%上回った。授業の中でテーマに沿って自分のことを話す活動を取り入れている成果と言える。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 聞いて把握した内容について、適切に応じる指導を充実させます。
- まとまりのある文章を読んで大切な部分を読み取る指導を充実させます。
- 考えや気持ちを整理し、まとまりのある文書を書く指導を充実させます。
- 言語材料の定着を図るために、実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う活動を行います。

【ご家庭では】

- 英語科の素地はコミュニケーション能力です。日常の中で、実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合いましょう。お子様が話につきあったり、理解を示したりして親子の会話をしてください。
- 英語への興味・関心が高まるように外国のニュース等をご家庭での話題にしてください。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	100.0	82.3
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	71.4	33.6
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	100.0	57.0
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をしますか。	42.9	46.4
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	42.9	22.5
学校の規則を守っていますか。	85.7	66.8
人が困っているときは、進んで助けていますか。	57.1	34.6
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	85.7	78.3
今住んでいる地域の行事に参加している。（どちらかといえばしているも含む）	100.0	50.6

朝食・起床・就寝については全国平均を大きく上回り、朝食・起床については100%であった。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムも概ねできているといえる。実際に本校の中学3年生は、遅刻や不登校傾向は見られず、給食も好き嫌いなく毎日完食し、元気に学校生活を送っている。これは家庭の協力によるものである。

挑戦心や規範意識についても肯定的な回答をした本校の生徒は全国平均よりも良好な結果が出ていた。また、地域行事には、全生徒が積極的に参加している。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	57.1	14.9
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。 「3時間以上」	0.0	9.9
「2時間以上、3時間より少ない」	0.0	25.6
「1時間以上、2時間より少ない」	85.7	34.3
「30分以上、1時間より少ない」	14.3	17.2
「30分より少ない」	0.0	8.4
「全くしない」	0.0	4.4

家庭学習については全国平均と同じく、ほとんどの生徒の学習時間は1時間以上2時間未満であった。若干少ないように見受けられるので、家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や生徒に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきたい。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

○家庭学習の習慣が定着するよう、毎日「自主学習（自学）」を宿題として出しています。模範になる自学ノートを掲示して意識を高めるようにしています。充実した内容の自学ノートを提出する生徒が増えてきています。自学ノートは各教科担当からコメントを入れるようにしています。アドバイスを基に次の目標をもって自学に取り組んでもらいたいと思います。

【ご家庭では】

○「家庭学習の手引き」を配布しています。各教科の授業への取り組み方、家庭学習のポイント等を掲載しています。家庭学習に取り組むお子様へのアドバイスをお願いします。
○規則正しい生活習慣や家族との関わり、地域の方との交流を通して、子ども達の学習に向かう基盤となる人間性が育まれます。学校での出来事等の話を保護者の方から積極的に声をかけて聞いてあげてください。